

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団
-----	---------------------

所管課	市民文化スポーツ局 文化企画課
-----	-----------------

団体に対するミッション
市民の文化芸術の振興に関する事業や埋蔵文化財の調査、研究及び保護等を行い、市民生活の向上と市民の豊かな文化芸術の創造に寄与する。

行財政改革大綱における見直し内容
市民に様々な舞台芸術を提供する公演事業については、質と量を維持しながら、収益向上策の工夫や事業形態の見直し等により、効率的な運営に努める。 また、同団体が管理運営する施設について、民間でできるものはないかという視点で精査する。一方で、市直営の文化施設のうち、民間で担えない部門については、市に代わって新たな担い手となるよう、環境の整備を行う。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な文化芸術ニーズに対応し、様々な公演事業や育成事業の実施及び幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興に寄与していく。 文化芸術施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査、研究、保存等を行なう。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
<観る・聴く> 公演事業の入場率 ①北九州芸術劇場 ②響ホール	①85% ②60.7%	①90% ②63.2%	①91% ②67%	①88% ②64.5%	30年度水準を維持	30年度水準を維持	30年度水準を維持	30年度水準を維持
<支える> 施設稼働率 北九州芸術劇場大ホール	77%	80%	83%	85%	30年度水準を維持	30年度水準を維持	30年度水準を維持	30年度水準を維持

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

団体における評価 市民に対し優れた文化芸術に接する機会や文化活動の場を提供するため、オリジナルの舞台芸術作品の制作、上演による全国発信、音楽専用ホールとしての特性を活かした質の高い音楽事業の提供、舞台・音楽芸術の手法を使った人材育成や教育普及事業等を実施し、文化芸術の振興に寄与すべく事業に取り組み、地域の劇場をけん引するリーダー的役割を担った。	市の評価 芸術劇場では魅力ある公演を実施し、入場率では目標には及ばなかったものの、稼働率では目標を上回った。また、響ホールについても、著名な音楽家による公演の実施などを行い、昨年を上回る入場者を獲得している。 そのほか、舞台芸術や音楽の手法を使った人材育成・教育普及事業を積極的に展開し市民の文化芸術に接する機会の充実を図った事は評価に値する。
今後の課題及び見直し内容（案） 引き続き、市民へ様々な文化芸術に接する機会や市民活動の場を提供するなど、文化芸術活動の振興に取り組んでいく。	団体への改善指導内容（案） 今後も効果的、効率的な運営を行うとともに人材育成や教育普及事業を実施し、本市における文化芸術拠点としての役割を担っていくことを求めていく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に事業内容を精査する団体
公演の質と量を維持しながら効率的な運営を行い、優れた公演事業の提供など文化芸術の振興を図った。次年度以降も演目内容を検討の上、事業展開を図っていく。 ◆効率的な運営の効果：劇場、響ホールの会員制度統合（27年度～発足）、劇場と音楽、市内その他施設との連携事業の実施 ◆優れた公演の実施：劇場（北九州芸術劇場×パリ市立劇場×山海塾共同プロデュース 山海塾「Arc 薄明・薄暮」世界初演、フィリップ・ド・カブル/DCA「新作短編集(2017)－Nouvelles Pièces Courtes」全国3都市のみ上演 ※埼玉・北九州・びわ湖 等） 音楽（川久保昭紀×遠藤真理×三浦友里枝 ピアノ・トリオ・コンサート、金子三勇士 ピアノ・リサイタル、北九州国際音楽祭（マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団） など）	